

(ウ) 検証授業Ⅲ

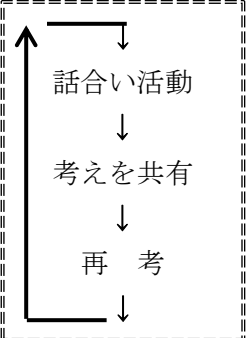
情報の活用と情報モラル (第3時/全3時間)

本時の目標

- ・ 情報社会の一員として、とるべき適正な行動に、法的・モラル的側面から考え適切に表現できるようにする。
- ・ 情報モラルの意義や情報モラルに関する問題について理解できるようにする。
- ・ 著作権法について理解できるようにする。

本時の展開

評価：B…「おおむね満足できる」状況，A…「十分満足できる」状況

学習活動	時	指導上の留意点及び支援の工夫	評価規準【 】と方法（ ）
1 前時の学習を振り返り，本時の学習内容を知る。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に学習した概要を説明する。 ・ ワークシート No1 (1) を記入させる。 ・ ICT機器の浸透により生活が変化していること，機器の発達により著作権侵害の行為が起りやすくなっていることを確認し，生徒が日常生活の中で複製を簡単に行っていることに気付かせる。 	
2 YouTube 動画のダウンロードについて考える(事例1)。 ・ 個人の意見をワークシート No 1 (2) に記入する。 ・ SKYMENU の投票機能で投票する。 ・ 班で話し合い，他者の意見も交え，更に考えを深める。  ・ 解説を聞き，ワークシートにまとめる。	35分	<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> 事例1：YouTube 動画のダウンロードは、著作権法的に合法か？ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子黒板で意見の分布を確認させる。 ・ 違法・合法のみでなく，理由をしっかりと考えるように指導する。 ・ 相互に考えを伝え合い，理解させる。 ・ 話し合う中で出た意見をワークシートに記入させ，様々な考え方があることに気付かせる。 ・ 数名に考えを発表させる。 ・ 電子黒板に YouTube の利用規約 B-5 を表示し，ダウンロードに際しての規約を読み，解説することで生徒の理解を深める。 	動画のダウンロードについて合法かどうか考察し，適切に判断している。 【思】 (ワークシート No 1 の記述) B 著作者の立場に立った記述がある。 A 法的側面やモラル的側面に基づいた記述がある。

<p>3 書店での未購入の雑誌やマンガの撮影について考える(事例2)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の意見をワークシート No 1 (3)に記入する。 ・SKYMENU の投票機能で投票する。 ・班で話し合い，他者の意見も交え，更に考えを深める。 <div data-bbox="180 647 430 992" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <pre> graph TD A[話し合い活動] --> B[考えを共有] B --> C[再考] C --> A </pre> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・この行為について何と呼ばれているのか，学習用PCで検索する。 ・SKYMENU の投票機能で投票する。 ・デジタル万引きが法的に合法かどうか学習用PCを使い調べる。 ・解説を聞き，ワークシートにまとめる。 	<div data-bbox="560 159 1121 282" style="border: 2px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>事例2：書店で気になる記事を見つけたので，スマホのカメラで撮影した。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは「デジタル万引き」という言葉を使わない。 ・電子黒板上で意見の分布を確認させる。 ・違法・合法のみでなく，理由をしっかりと考えさせるようにする。 ・相互に考えを伝え合い，理解させる。 ・話合う中で出た意見をワークシートに記入させる。 ・話し合い活動の中での発言やワークシートへの記入を拾い，数名に発表させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・数分待つてから，検索結果を確認する。 ・ワークシート No 1 (3)の に「デジタル万引き」と記入させる。 ・「万引き」を強調し，再度，「デジタル万引き」は違法か合法か問いかける。 ・「万引き」という言葉で考えに変化が出るか投票機能を使い確認する。 ・電子黒板上で意見の分布を確認させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板に解説サイトを表示する。 	<p>著作物の利用について，法的側面やモラル的側面に基づいて考え，その結果を適切に表現している。 【思】</p> <p>(ワークシート No 1 の記述)</p> <p>B 著作者の立場に立った記述がある。</p> <p>A 法的側面やモラル的側面に基づいた記述がある。</p>
<p>4 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を振り返り，著作権の知識と理解を深める。 	<p>10分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝手な判断をせず，考えたり，調べたり，相談したりすることの必要性を説明し，ワークシート No 1 (4)の空欄を埋めさせる。 ・著作物を利用する場合は原則として許諾が必要なこと，社会のルールやモラルを守るためには，日頃から考えて，判断していくことが大切だということを押さえる。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・本時の感想を書く。 ・様々な事例について考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート No 1 (5)に記入させる。 ・ワークシート No 2 を配布し，班で意見交換しながら記入するように指導する。 	<p>安易な行動は著作権法に抵触する可能性があることを理解している。</p> <p style="text-align: center;">【知】</p> <p style="text-align: center;">(ワークシート No 1 の記述， ワークシート No 2 の記述)</p> <p>B 法的側面やモラル的側面に基づいた記述がある。</p> <p>A 著作権法の要点(個人的利用は可能)を理解した記述がある。</p>
--	--	---	--